

# 会 議 録

|           |                                                                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 令和6年度第1回藤井寺市環境保全審議会                                                                             |
| 開 催 日 時   | 令和6年9月20日（金） 14時00分から15時25分まで                                                                   |
| 開 催 場 所   | 藤井寺市役所3階305会議室                                                                                  |
| 出 席 者     | 鯉坂委員、藤本委員、山田委員、藤井委員、大原委員、南委員、常元委員                                                               |
| 会 議 の 議 題 | 1 開会<br>2 資料確認<br>3 議題<br>（1）温室効果ガス削減目標について<br>（2）地球温暖化対策について<br>（3）その他<br>4 閉会                 |
| 配 布 資 料   | ・ 次第<br>・ 審議会委員名簿<br>・ 温室効果ガス削減目標<br>・ 地球温暖化対策                                                  |
| 会議録の作成方法  | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録                          |
| 記録内容の確認方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている<br><input type="checkbox"/> 会議の出席委員全員の確認を得ている |
| 公開・非公開の別  | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開                             |
| 傍 聴 者 数   | 0人                                                                                              |

## **令和5年度第2回藤井寺市環境保全審議会 議事要旨**

日時：令和6年9月20日（金）

14：00～15：25

場所：藤井寺市役所3階305会議室

### **1 開会**

### **2 資料確認**

### **3 議題**

#### **（1）温室効果ガス削減目標について**

藤井委員：自動車について、渋滞することでCO<sub>2</sub>排出量に影響はあるのか。

事務局：渋滞することで燃費は悪くなるため、同じ距離を移動する場合でも渋滞していればガソリン使用量が多くなり、それに伴ってCO<sub>2</sub>排出量も増加することになる。

藤本副会長：電気の排出係数の低減効果については、エネルギーに関する社会情勢を考慮したものなのか。

事務局：国が示している排出係数の目標値については、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で46%削減することを目指して設定されているものである。今回の資料では、国全体での排出係数の目標値が達成された場合の効果として試算しているものであり、今後の社会情勢等は考慮していない。

鯉坂会長：8ページの対策ケースによる推計結果では、電気の排出係数の低減、省エネルギー対策等、再生可能エネルギーの導入についてそれぞれ削減効果がまとめられているが、6ページの現状すう勢ケースによる推計結果では部門別にまとめられているため、それぞれの関係について説明してほしい。

事務局：電気の排出係数の低減については、電気を使用する産業部門、業務部門、家庭部門及び運輸部門に関係しているが、特に電気の使用割合が大きい業務部門、家庭部門における削減効果が大きくなっている。さらに、省エネルギー対策等や再生可能エネルギーの導入についても、全ての部門に関係している。ただ、6ページは部門別、8ページは対策別に示しているため関係性が分かりにくいところのご指摘に対しては、見せ方を工夫するなど対応したい。

山田委員：7ページに削減見込量の推計方法が記載されているが、達成するために市民が何をすれば良いのかが分かりにくいので、具体的に示して欲しい。

事務局：市民が取り組める内容や削減効果についても、計画書に盛り込むよう検討する。

#### **（2）地球温暖化対策について**

山田委員：取組を進めていくためには、呼びかけ続けていくことが大事だと思う。CO<sub>2</sub>排出量がこれだけ減ったということを見せることで、賛同してくれる市民も多くなると思う。また、電気料金が高くなればなるほど、電気の使用を減らそうとするため、

結果として省エネルギーにつながっているという側面もあると思う。

事務局 : 情報発信は大事だが、行動変容を促すためには単に情報の量を増やすだけではなく、情報の伝え方や情報を伝える媒体を工夫していく必要があると考えている。

藤井委員 : 市民に身近な取組として、まずは家電製品を買い替えるなどの省エネルギーやごみの減量から始めるのが良いと思う。また、プラスチックに代わる製品への代替についても検討していく必要があると思う。

鰺坂会長 : 市民が取り組める具体的な例をコラムで紹介するなどの工夫をして欲しい。

南委員 : 温室効果ガス排出量の推移を見ると、2021 年度には 2013 年度比で 35.7%減少しているとあるが、例えば家庭部門について減少の要因は分かっているのか。

事務局 : 電気の排出係数が低減していることや家電製品の買い替え等が進んでいることが要因の一つと考えられる。

南委員 : 現状のまま推移すれば目標を達成できるのか、あるいは新たな対策を講じる必要があるのか。

事務局 : 現状のままでは目標を達成することは難しいため、さらに追加的な取組を促していくことが必要になると考えている。

南委員 : 今回の資料にある取組を啓発していくことが重要になるということか。

事務局 : そのように考えている。

鰺坂会長 : 地域の特性を踏まえた藤井寺市ならではの取組を提案できると良いと思う。例えば、古墳群を活用した環境教育や啓発を通じてごみ減量の意識につなげていくといった取組ができると面白いと思う。環境保全審議会の中で、こういった新たな取組について提案しても良いのか。

事務局 : 提案いただくことは問題なく、新たな取組について議論していくことは重要なことだと考えている。

鰺坂会長 : 身近で取り組んでいることなどがあれば、コラムで紹介するなど計画書に盛り込めると思うので、環境保全審議会の場でもメールでも構わないので、提案いただければと思う。

### (3) その他

事務局 : 本会議の議事要旨については、鰺坂会長に確認いただいた後に、市のホームページに公表する予定としている。また、次回の環境保全審議会については、1 月の開催を予定しており、日程等については決まり次第連絡させていただく。

以上